



探究を見学！授業実践「音楽Ⅰ」

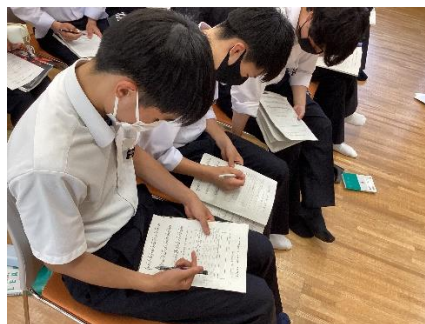
概要

- 授業者：永井 理恵（芸術科）
- 日時・対象：令和5年6月19日（月）／1年生普通科
- 内容：とっておきの' O sole mio を歌おう！

導入 本時の説明→「' O sole mio」の歌唱



展開① 自分の声の「強み」について考える→ペアで共有



展開② 強みを生かして歌えるよう、後半部分の歌い方を考える→ペアで共有→解説もはさみながら・・・



展開③ 友達のフェルマータ表現で歌ってみる。



●授業者が目指す授業、成果と展望、本時の感想など

今年の歌唱の授業は、「自分の声を知ること」そして「自分の声が“生きる”表現で歌うこと」を明確にしています。ひとりで歌うことは、誰でも緊張します。大勢の音楽の授業でのびのび歌いながら自分の声を“育てる”ことを目指した授業をつくっています。カンツォーネは強弱・緩急・ブレスの間合いなど、歌い手の声の持ち味や気持ちの高まりに合わせて自由に表現することができます。大勢でも一人でも歌える教材としてぴったりだと長年取り上げてきました。本時は「表現したいことをワークシートで整理し、自分の声（歌）を使って誰かに伝える」ことを中心に、授業を展開しました。力強い男声の中からキラリと光るように現れる女声は、1年CD組でしか味わえない歌声です。とっておきの歌・とっておきの声を楽しくつくっていけるような授業を、これからも心がけていきたいと思っています。